



本年度の重点目標「考えを分かりやすく伝えることができる子どもの育成」

後期がはじまりました

本年度もあと残り半分となりました。始業式では、「学校には集団生活を送るためのきまりがあり、その決まりを守ってみんなが安心して生活できるように、どうすれば良いか考えて行動してほしい」という話をしました。後期は、スポーツフェスタや上妻まつりなどのたくさんの行事があります。みんなで力を合わせて、良い思い出をつかっていきたいと思っています。



修学旅行

9月29日（金）と9月30日（土）の2日間で、長崎に行ってきました。

1日目は、地元のガイドさんに案内をしていただきながら、原爆の爪痕が残る場所や、原爆資料館等をグループで見てまわり、平和学習を行いました。2日目は6年生が事前に調べたことをもとに、グループで計画した歴史・文化学習を行いました。今年は、新型コロナウイルス感染症が五類になり、行動制限もなくなりましたので、路面電車も活用しました。2日間とも、とても良い天気です。暑かったのですが、みんな元気に充実した活動をする事ができました。6年生は上妻小学校の最上級生らしく、地域の方へのあいさつを進んでしたり、ホテルでのマナーを守ったりするなど素晴らしい態度でした。



修学旅行では、戦争の恐ろしさや、平和の大切さに気づくことなどを目的としており、原爆資料館や平和公園などの見学や、被爆体験をされた方のお話を聞くことを通して、理解を深めることができました。また、長崎のまちに残る出島や、グラバー園などを見学して、外国との交流によって発展した文化や歴史についても学ぶことができました。



学習面だけでなく、自分勝手な行動をしないで、他の友達とともに活動することを通して、自主性や協調性なども身につけてきたと思います。この2日間の学習を通して、平和な時代に生きることのできるありがたさや、自分を支えてくださっている周りの方々への感謝の気持ちを感じることができたと思います。この学びを生かして、これから自分にできることを考え、平和な世の中をつくる一人として行動をしていってほしいと心から願っております。

人権の花運動 ひまわりを育てたよ



早速、田川郡添田町の方から「たねが届きました」というお葉書をいただきました。

福岡県法務局八女支局では、人権擁護委員協議会の皆様や人権擁護委員の皆様とともに子どもたちに、花を育てることを通じて命の尊さを実感してもらい、その中で、優しさや思いやりの心を身に付けてもらうた

めに、「人権の花運動」を行っておられます。(ホームページより)本年度は上妻小学校で「人権の花」を育てる活動を行いました。5月にひまわりの種を植えて、10月3日に本校の運動場で子ども達が育てたひまわりの種を飛ばしました。この「人権の花のひまわり」ですが、3年生の子どもたちが、水やりをしたり、草取りをしたりして、大切に育てました。夏には、ひまわりが太陽に向かってまっすぐ伸び、きれいな花が咲き誇り、見ている私たちに元気を与えてくれました。この「人権の花」を育て、種を飛ばしたことは、きっと子ども達の心に残ることだと思っています。

黄色のひまわりの花言葉には「未来を見つめて」や「願望」という意味が含まれているそうです。幸せな未来への思いを込めて、元気なひまわりの種がいろんなところに届き、たくさんの人々と思いがつながることを願っています。

「ひまわりのせいちょう」(3年)

わたしは5月8日にひまわりの種を植えました。5月23日に見てみると、3つの子葉が出ていました。7月18日に見ると、わたしのせより高くなっていて、葉はお父さんの手のひらぐらいまで大きくなっていました。9月12日に見てみると、花はかかれていたけれど、たねができていました。百こ以上のたねがとれたのでたいへんだったけれど、すごいなと思いました。ひまわりを育ててとても楽しかったです。たねが遠くまでとんで行って、いろんなところできれいな花をさかせてほしいと思います。

「ひまわりを育てて思ったこと」(3年)

5月にひまわりの種を植えました。何日かあとに、3個目が出ました。とってもうれしかったです。「早く育ててね。」と気持ちを込めて、水やりをしました。暑い日はとくべつにたくさん水をやりました。ある日、つぼみからでっかい花がさきました。たねをしゅうかくしたら、百こ以上とれました。たくさんとれてうれしかったです。このたねが遠くにとんで行って、めをだしてきれいなひまわりをさかせてくれるといいなと思います。ひまわりのたねがあちこちに広がっていくように、うれしい気もちやしあわせな気もちがいろんな人にとどいてほしいです。

「ひまわりを育てたよ」(3年)

わたしは、人けんの花として、ひまわりを育てました。みんなで協力して水やりを続けたので、とても大きなひまわりをさかせることができました。わたしたちの育てたひまわりがさいているすがたを見て、とてもうれしかったです。

今日、みんなでしゅうかくしたたねを風船にのせてとばします。わたしは、たねをいれたふくろに「ていねいに育てました。大切にしてください。」というねがいをこめました。みんなできょう力してたいせつに育てたひまわりをだれかがたいせつにしてくれるとうれしいです。そして、たいせつにした気もちわすれずに、これからも友だちや身の回りの動植物をたいせつにしていきたいです。

「ひまわりの思い出」(3年)

わたしは、ひまわりを育てました。そのたねを植える時は、元気に育ってくれるのかとても心配でした。やっと子葉が出てきたときは、よかったとほっとしました。その後も、毎日のように水やりをすると、ぐんぐんと大きくなり、ついにわたしのせをぬいてしまうほどになりました。小さかった子葉がりっぱな花になって、とても嬉しかったです。夏休みが終わって学校に行くと、ひまわりは枯れてたくさんたねができていました。みんなで協力して育てることができてよかったなと思いました。さい後に、ねがいをこめて育てたひまわりのたねが風船にのってだれかにとどいて、笑顔いっぱいになってほしいなと思いました。